



お元気ですか! 志村 たかよし です

区民税増税で

区の防災対策費を捻出とは…

日本共産党だけが反対

中央区の防災対策の財源のために、区民税を一律五百円増税するという条例が、3月2日の企画総務委員会で日本共産党の反対、他会派の賛成多数で採択されました。

この「中央区特別区税条例の一部を改正する条例」は、11年度～15年度までの5年間に区がおこなう防災対策の財源として、14年度～23年度までの10年間、区民税の均等割を現行の三千円から三千五百円へ増やすというものです。

一律五百円増税は不公平

今回の増税は一律五百円引き上げるので、所得の低い人は高い人より負担率が高くなる不公平なものです。

もっと国が責任を持って

今回の条例は、昨年11月の国会で成立した法律によるものですが、その法律は被災地の住民にまで増税を課すとい

区民一人あたり二千五百円相当

三億円の東京湾大華火祭中止で実現した施策

- ★マンション防災対策自己点検調査支援（800万円）
- ★区内事業所の震災時の対応等調査（500万円）
- ★防災資器材備蓄の充実（4280万5千円）
- ★東日本大震災被災地への支援（4031万8千円）
- ★放射線環境測定調査（478万8千円）
- ★観光商業まつり（1738万7千円）
- ★区内共通飲食券事業補助（7039万9千円）
- ★復興支援イベント補助（3000万円）
- ★築地場外市場地区における被災地復興支援事業に対する助成（1869万4千円）
- ★障害児一時預かり事業の実施（1629万5千円）

う非情なものです。

国が責務を果たさず、国民に負担させることなど認めることはできません。

中央区なら増税必要なし

今回の区民税の増税は、自治体の判断でやってもやらなくてもいいことになっていきます。

区の試算では、年間三千六

百万円の増収ということですが、中央区の豊かな財政を考えると、増税など必要ありません。

昨年、東京湾大華火祭中止で使わなかった約三億円が、防災対策の充実などに活用されたように（右参照）、税金の使い方次第で、10年間にわたり区民税を増税しなくても防災対策は十分可能だと思います。



2011年の消防団合同点検＝晴海会場



本会議質問=2/29

鮮魚マーケット構想

財政規模も経営主体もいまだ未定

「砂上の楼閣では？」の声も

2月29日の本会議で、私は、場外市場に隣接する小田原橋駐車場において先行営業する施設（鮮魚マーケット）の整備にかかる事業費、維持管理費、運営主体や区のかかり方などについて、どの様に想定しているのか質問しました。

区長の答弁は「今後、検討していく」という「無責任」とも言えるものでした。

「鮮魚マーケット」は、築地市場の豊洲移転を前提にした構想で、区は、2013年度の先行営業を目指していますが、「現時点で具



鮮魚マーケットの先行営業を予定している小田原橋臨時駐車場。場外市場に隣接しています。ここに作る施設には100店舗を予定とのことです。



「市場移転」後に、鮮魚マーケットにするという勝どき門駐車場（中）と右側の駐車場。200店舗を予定しているといいますが…。手前は晴海通り。

体的な数字などお示しできる段階ではない」と区長は平然と答えました。

見通しが立たないまま動き出すなど行政として異例のことです。

「市場移転後」は、場内の勝ど

また見つかった！豊洲の土壤汚染。「合意」は破棄すべき

豊洲新市場予定地で、新たな汚染が見つかりました。

東京都は3月2日、汚染していないからと、これまで調査をしておこなった不透水層や盛り土からベンゼンやシアンなどの汚染物質が見つかったと発表しました。

都は、土壌汚染対策工事の中で処理するとしていますが、不透水層の深い所で見つかったヒ素や鉛



不十分だったボーリング調査=08年の豊洲視察は「自然由来」なのでそのまま残すとしています。

き門駐車場等を鮮魚マーケットにする計画ですが、「鮮魚マーケット構想」について「実現性の乏しい『砂上の楼閣』」「移転反対の声を抑えるための苦肉の策」など

汚染物質をそのままにして市場を作るといいます。

区と都の「移転を着実に行う」という「合意」の大前提は「市場予定地の土壤が完全に浄化されること」と区は答えています。

私は本会議の質問で「区長は『合意』の前提となっている土壤の安全性を確かめるため、都に対し土壤汚染の科学的データの公表や土壤汚染のクロスチェックなどを求めるべき。安全性が確認できないのであれば『合意』を破棄して現在地再整備の立場に立つべき」と追及しましたが、区長は答弁を避けました。

「意見、要望など、お気軽に」連絡ください(03-6366-0306)